

お知らせ

INFORMATION



No.2014-26

2014年7月

病体生理研究所

新規受付のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記検査項目におきまして、新たに受託を開始させて頂くことになりましたのでご案内いたします。

何卒、ご利用頂けますようご案内申し上げます。

敬具

記

【新規受付開始について】

◆ HPV 簡易ジェノタイプ判定 [17474]

※ 2014年検査案内P.75 掲載済み

【検査項目情報】

項目名称	HPV 簡易ジェノタイプ判定
コード	17474
検体材料	LBC用採取液 2.0mL
保 存	冷蔵
採取容器	LBC用専用容器 ThinPrep 又は SurePath
検査方法	PCR法 (リアルタイムPCR)
報告形態	HPV16型：(+) / 検出せず / 判定不能 HPV18型：(+) / 検出せず / 判定不能 その他ハイリスク型：(+) / 検出せず / 判定不能 ※1
要日数	5 - 7日
実施料 (区分)	360点※2 微生物学的検査判断料
備考	<p>※1 本検査では、16型、18型の型別判定を行います。その他12種類の高リスク型HPV(31,33,35,39,45,51,52,56,58,59,66および68型)に関しては遺伝子同定(型別の判定は出来ません)を行います。</p> <p>※2 保険適用条件</p> <p>ア. 子宮頸部細胞診の結果、ASC-US(意義不明異型扁平上皮)と判定された患者に対してHPV検査を行った場合に限り、「HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)」を算定できます。</p> <p>イ. 細胞診と同時に実施した場合は算定できません。また「HPV核酸検出」と併せて実施した場合は、主たるもの1つに限り算定できます。</p> <p>ウ. 当該検査は、HPV核酸検出の施設基準を届け出ている保険医療機関のみ算定できます。</p>
臨床的意義	<p>子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス(HPV)ハイリスク型を、持続感染することにより発症します。早期発見と進展リスクに応じた診療のために、HPVハイリスク型の感染有無の情報が重要となってきます。</p> <p>このたび、従来のハイリスクグループ(31、33、35、39、45、51、52、56、58、59、68型)に66型を加え、さらに、高リスク型の中でも特に子宮頸がんへの進展リスクの高い2種類の型(16型及び18型)については、その型別の同定も行うことから、従来のHPV検査と比べ臨床的な有用性がより高いという特徴があります。</p>

以上